

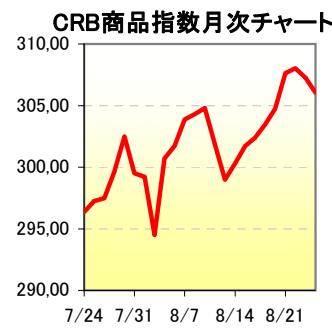
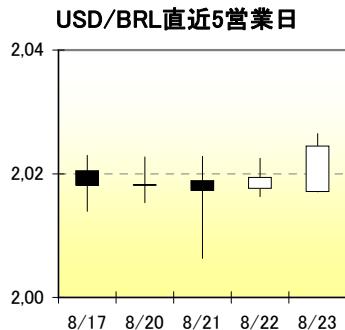
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			8月17日	8月20日	8月21日	8月22日	8月24日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0150	2,0150	2,0170	2,0190	2,0250	+0,0060
	USD/YEN	Spot	79,54	79,40	79,24	78,50	78,70	+0,2000
	EUR/USD	Spot	1,2321	1,2346	1,2463	1,2518	1,2516	-0,0002
	BRL/YEN	Spot	39,47	39,35	39,29	38,88	38,86	-0,0200
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,56	1,62	1,54	1,52	1,56	+0,0373
		1Year(p.a.)	1,92	1,97	1,90	1,86	1,87	+0,0123
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,25	7,33	7,33	7,33	7,32	-0,0101
		1Year(p.a.)	7,50	7,46	7,48	7,51	7,56	+0,0445
Stock	Bovespa		59.082	59.691	58.918	59.381	58.426	-955,00
Bond	CDS Brazil 5y		128,83	128,13	126,17	126,93	130,49	+3,5600
	Global 40		128,675	128,750	128,750	128,625	128,625	u,c,

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGV消費者信頼感	121.8	120.4	121.6	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0180 で寄り付いた。
- 夏休みシーズンの影響で市場参加者が引き続き限られる中、週初にはメルケル独首相率いる与党の議員が「ギリシャが救済プログラムの主目標の達成に意欲を示す限り、救済に関する幾分の譲歩は可能」とコメントしたことにより好感され、ユーロは上昇。
- レアルも 7 月以来となる 2.0200 を上抜けて上昇し、週間高値となる U\$1=R\$2.0060 を付けた。しかし、市場では伯中銀によるドル買戻し需要の引き合いが噂されると、介入警戒感からレアルは一気に反落した。実際の介入が実施されると、レアルは更に下値を拡大した。
- 週央には米 FOMC 議事録が発表され、持続的な景気回復ペースが見られなければ、追加緩和は予想より早く行われる可能性が高いとのコメントを受けて米追加緩和への期待が高まると、ドルは全面的に売られる展開となった。一方で、レアルは伯中銀によるドル買戻し介入警戒感が強く、レアル買戻いの動きは限定的となった。
- 週末にかけては米セントルイス連銀総裁による「現段階での米追加緩和には反対」との発言を受けて、ドルの買戻しが見られ、レアルは 2.02 台半ばまで押し戻された。
- 翌 24 日には週間安値となる U\$1=R\$2.0320 を付けたが、米バーナンキ FRB 議長による書簡で「金融の状況を緩和し、回復をこ入れするための追加的な行動をとる余地が金融当局にはある」とコメントしたことによってレアルは反発した。一時的に 2.0200 を上回る水準まで反発するも、結局 U\$1=R\$2.0250 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	予想	前回
8/27	FIPE消費者物価指数(週次)	0.25%	0.21%
8/27	貿易収支(FOB)-週次	--	\$574M
8/28	FGV建設コスト(前月比)	0.35%	0.85%
8/29	ブラジル中央銀行 ターゲット金利	7.50%	8.00%
8/30	FGVインフレ率-IGP-M(前月比)	1.46%	1.34%
8/30	FGVインフレ率-IGP-M(前年比)	7.76%	6.67%
8/30	製造業PPI(前月比)	--	--
8/30	製造業PPI(前年比)	--	--
8/30	個人ローン・デフォルト率	--	7.8%
8/30	貸付残高(前月比%)	--	1.5%
8/30	融資残高	--	2167B
8/30	中央政府予算	--	1.3B
8/31	GDP(IBGE)(前期比)	0.5%	0.2%
8/31	GDP(IBGE)(前年比)	0.7%	0.8%
8/31	GDP(IBGE)(四半期累積比)	--	1.9%
8/31	純債務対GDP比	--	35.1%
8/31	基礎的財政収支	--	2.8B
8/31	公共部門 名目予算収支	--	-13.3B

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.00~2.04

今週は今週は約2ヶ月振りとなる伯中銀によるドル買い介入が見られ、市場ではリアルの取引レンジが完全にコントロールされているとの見方が再確認された。海外では米FOMC議事録の内容がハト派となったことを受けて直後は米追加緩和が早々に行われるとの疑惑が広がったが、先週から見られている良好な米経済指標の結果が評価され、暫くは追加緩和は行われないと見方が大勢となつた。来週にかけては米国の注目指標が数多く発表されることから、今後の米追加緩和への決断に影響を及ぼす可能性が高い。更に、伯金融政策委員会(COPOM)の開催が予定されており、0.50%の利下げが予想される。来週は市場参加者の休暇からの戻りも予想され、流動性も徐々に回復されると思われるが、中銀による介入警戒感から引き続き狭いレンジでの値動きとなろう。